

小学国語B

2 表をもとに話し合う

この問題は、「相手の立場や意図をとらえて聞き、その上で自分の立場を明確にして話すこと」に関する問題です。
調べたことやまとめたことについて討論を行う学習と関連があります。

2

川口さんの学級では、家族の一員としてできることを考えるために、家庭での過ごし方について調べました。次は、川口さんのグループが集めた資料をもとにした話し合いの様子の一部です。よく読んで、あとの問いに答えましょう。

【話し合いの様子の一部】

司会 ここからは、川口さんたちが集めた【資料】をもとにして、「家の中のそうじや整とん」について話し合います。【資料】を見て分かったことや考えたことを発表してください。

川口 平成十六年を見ると、「いつもしている」人が少ないと思います。家の中のそうじや整とんはむずかしいことではないと思います。家族の一員としての自覚をもって、積極的に取り組むべきではないでしょうか。

松山 確かに、平成十六年の「いつもしている」は十五%しかいません。でも、「ときどきしている」を合わせると、六十七%もあります。むしろ、よく取り組んでいるほうだと思います。

司会 今、二人は、平成十六年の割合から考えた意見を出してくれましたが、平成十七年の割合からも考えてみてください。

【資料】家の中のそうじや整とんをする小学校6年生の割合

	いつもしている	ときどきしている	あまりしていない	まったくしていない	無回答など
平成16年	15%	52%	24%	9%	0%
平成17年	14%	48%	29%	8%	1%

(国立オリンピック記念青少年総合センター
「青少年の自然体験活動等に関する実態調査」による。)

村田

わたしは、平成十七年の「あまりしていない」と「まったくしていない」に注目しました。この二つを合わせると、三十七%にもなります。しかも、平成十六年よりも増えているので、もっと取り組んだほうがいいと思います。

あなたの発表

ア

（話し合いが続く）

一 話し合いで出された意見を次の□の中にある二つに分けます。「川口・松山・村田」の三人は、それぞれA・Bのどちらの意見になりますか。□の中に、それぞれAかBのどちらかふさわしいほうを選んで書きましょう。

A
最近の小学校六年生は、家の中のそうじや整とんによく取り組んでいるという意見

B
最近の小学校六年生は、家の中のそうじや整とんにあまり取り組んでいないという意見

川口

松山

村田

☐

☐

☐

2の1の問題を順に考えて解いていきましょう。

○「川口・松山・村田」の三人は、【資料】の中のア～コの中の割合を見て、どのように考えていますか。

【資料】家の中のそうじや整とんをする小学校6年生の割合

	いつも している	ときどき している	あまり していない	まったく していない	無回答 など
平成16年	ア 15%	イ 52%	ウ 24%	エ 9%	オ 0%
平成17年	カ 14%	キ 48%	ク 29%	ケ 8%	コ 1%

(国立オリンピック記念青少年総合センター
「青少年の自然体験活動等に関する実態調査」による。)

川口

・【資料】の

☐

の割合を見て、

松山

・【資料】の

☐

と

☐

の割合を見て、

村田

・【資料】の

☐

と

☐

の割合を見て、

○「川口・松山・村田」の三人は、次のA・Bのどちらの意見になりますか。

A
よく取り組んでいるという意見

☐

B
あまり取り組んでいないという意見

☐

- 平成十七年の割合（％）を取り上げること
- 六十以上八十以内にまとめ、発表するように書くこと

○「よく取り組んでいる」というAの立場で意見を発表するために、あなたは力コの中のどの割合を取り上げますか。

○なぜ、右の割合を取り上げようと思ったのですか。その理由を書きましよう。



※ここまでくれば、あとひと息！

話し合いの流れに沿って、六十字以上八十字以内で、原稿用紙に意見をまとめましょう。原稿用紙に書くときには、川口さんや松本さんたちの意見の述べ方を参考にして書きましょう。

[illegible]

80 字 60 字

人の意見を聞くときには、話している人がどのような立場で意見を述べているかととらえた上で、自分の立場や考えをはっきりさせて聞くことが大切です。

また、自分の考えを話すときには、具体的な数値などの事実をもとにして、聞いている人に理解してもらいえるように話すことが大切です。